

進捗状況の概要 【1ページ以内】

本構想は、ASEAN 横断型グローバル課題挑戦的教育プログラム(TAG/AIMS プログラム)として、世界協調と地域及び課題横断型アプローチで、国連ミレニアム開発目標(MDGs)及びこれを継承する持続可能な開発目標(SDGs)に関わる課題を軸に教育し、学生の自主性理解を醸成することを最終目標としている。特に、2002年WSSDや2012年Rio+20のサミットで合意された基幹的なトピックスである、農業食料・環境・生物多様性・エネルギー・水・貧困などを主体に、AIMS プログラムの7教育分野に対応した教育を実施し、本学の教育目標の一つとしている「地球規模課題解決に資する知の創造」の下に、参加する本学派遣学生、パートナー大学からの受入学生に対して様々な教育プログラムを提供している。

この事業の目的は、学生交流だけではなく、教育活動を通じた ASEAN 地域における教育の質の向上と統一への貢献、短期留学のための学生支援制度に関する問題点抽出による将来の更なる学生モビリティ増大への迅速かつ効率的な対応に資するための基盤整備にある。従って、TAG/AIMS プログラムでは、教育システムの異なる多くのパートナー大学を取り込むことで、より普遍的なシステム構築への応用を目指している。

AIMS プログラムでは、学生は母国の奨学金、又は私費で参加することになっているが、パートナー大学を対象とした事前調査では、日本留学のための奨学金を準備できず、学生の私費負担に依存している大学が多く見られた。このような状況下で、限られたパートナー大学との間で多数の学生交流を行った場合、他の優秀な学生にプログラム参加の機会を公平に提供できなくなるだけでなく、補助金終了後の事業継続性を考慮した場合に事業規模を縮小せざるを得なくなる可能性がある。加えて、本事業では日本よりも地球規模課題が顕在化している ASEAN 諸国に日本人学生を派遣し、異なる生活環境、文化、学修環境に一定期間滞在する機会を提供することで、地球規模課題解決に貢献するために必要な能力を養成することを目的としており、少数の大学と多数の学生交流を行った場合、パートナー大学での派遣学生の集団行動が増え、学生の自主性理解の醸成の点でも目標達成が難しくなる。

このような理由から、TAG/AIMS プログラムでは可能な限り多くのパートナー大学とネットワークを構築し、幅広い学生交流活動を行うことにより、プログラムの継続性と教育効果を高めることとしている。なお、少人数派遣の場合に懸念される危機管理・学生支援体制については、本学海外拠点やパートナー大学との連携による現地サポートに加え、海外安全危機管理サービスへの加入によって、緊急時に対応する万全な体制を整えてある。

学生受入に関しては、平成26年度秋学期(2014.10～2015.3)から開始し、マレーシア6名(3大学)、インドネシア3名(2大学)、タイ7名(4大学)、ベトナム2名(1大学)、フィリピン10名(4大学)をAIMSパートナー大学から受け入れたほか、カンボジア4名(1大学)、ラオス4名(1大学)、アメリカ2名(1大学)からも学生を受け入れた。また、ラオス、カンボジア、ミャンマーについては、AIMS プログラムが SEAMEO 全加盟国を参加国に登録することを計画しており、将来のAIMS参加への試行的な交流として、3カ国の教育省の高等教育担当部局との連携の下、成果及び改善点などについて情報共有を行った。

学生派遣に関しては、平成26年度 ASEAN 第二学期(2014.12～2015.5)から開始し、マレーシア11名(7大学)、インドネシア2名(2大学)、タイ7名(4大学)、ベトナム1名(1大学)、フィリピン3名(2大学)を派遣した。派遣期間中には、電子メール・SKYPEなどを活用して定期的に学生の学修状況を把握するとともに、本学海外事務所のあるクアラルンプールに学生を招集しフォローアップミーティングを開催することで学生間ネットワークの構築も行った。

このほか、ASEANへの一学期間留学を動機づけるため、約2週間のパイロットプログラムをタイ・フィリピン・インドネシア・マレーシアと双方向で実施(平成25年度:受入46名/派遣86名、平成26年度:受入41名/派遣50名)。またパートナー大学及びSEAMEO、SEAMEO RIHEDとの連携強化のため、共同プログラム会議、幹事校連絡会、シンポジウムを開催し、学生交流活動に係る教育業務、学生支援体制の強化、及びプログラム研究評価(国連大学含む外部評価委員等からの助言を基に実施)の報告を行った。更に、プログラムにおける人材育成の幅を広げるため、TAG/TSSP(TAG-Tsukuba Short Study Program)プログラム、及びTAG/MEXTプログラムを開始した。(※TAG/TSSPプログラム:パートナー大学より学生を90日以内で受け入れ、本学教員の指導の下、卒業研究やインターンシップなど地球規模課題解決に資する特定分野の研究活動を行う。/※TAG/MEXTプログラム:TAG/AIMSプログラムの特別科目を必修化した生命環境学際プログラムとの共同学士プログラム。平成26年度「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」に採択され、平成27年度より開始。)

【本事業における中間評価までの交流学生数の実績】

平成25年度				平成26年度			
受入		派遣		受入		派遣	
計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
0人	0人	0人	0人	25人	28人	25人	24人